乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

1. 事業概要について

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）は、保育施設等に通園していない児童を対象に、保護者の就労の有無にかかわらず、時間単位で柔軟に利用できる新たな制度です。児童が保護者と一緒に施設を定期的に利用し、保育士等と関わったり、他の児童と触れ合いや遊んだりする中で、豊かな経験を通じてこどもの育ちを支え、また、保護者が保育士等に子育てに関する疑問や悩みも相談したりすることができる事業です。

国は、令和7(2025)年度から事業を法律上制度化し、令和8(2026)年度から本格実施する予定としています。

2. 受入れ体制について

令和8(2026)年度から本格実施に向け、引き続き、調査や検討に取り組むとともに、市内の保育施設での受け入れ体制の整備を図り、令和7年度中の試行的実施を目指します。

■国の算定基準に基づく事業見込み量

(単位：人日)

区分	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	
見込み量(利用人数)	3,664	3,601	3,548	3,475	3,402	
確保 方策	提供量 (利用可能人数)	3,900	3,900	3,750	3,600	3,600

3. 今後のスケジュール

令和7年2月7日	令和6年度 第5回子ども・子育て会議の開催 ※ 燕市における乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の概要説明
令和7年4月～	こども誰でも通園制度総合支援システムの運用開始（こども家庭庁）
令和7年5月上旬	令和7年度 第1回子ども・子育て会議の開催 ※ 燕市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の説明（意見聴取）
令和7年6月	燕市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の条例制定
令和7年12月～	試行的事業を開始 ※ 燕市では公立保育園（2園）で実施予定
令和8年4月～	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の本格実施